

事業所名		放課後等デイサービス ジョイジョイ				公表日	令和7年4月9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	パーティションを用いて、個別課題等に集中して取り組める環境作りをしている。 1階と2階に分かれて学習している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	1階と2階でスペースが分かれているため、4～5人を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	パーティションを活用することにより、より子どものニーズに合わせた環境を整えられた。 おやつ、個別課題、遊びと空間の使い方を決め、構造化できるよう工夫している。 バリアフリーではない。 階段が急である。 分かりやすく配置しているつもりだが、借家のためバリアフリー化は難しい。	子どもの特性を考えながら、落ち着いて個別課題に取り組めるようにしていきたい。パーティションが持ち運びしやすい物にするなど検討したい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	畳の上にマットを敷くなど工夫がされている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	衝立などを用いて、個別の空間を確保する工夫をしている。 2階のスペースでクールダウンしたり、パーティションで区切っている。		
業 務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	89%	11%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	月に1回のミーティングと毎日の支援前のミーティングで確認している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	法人の役員会で意見を聞いている。 外部評価は行っているが、分かりにくいため、ミーティングなどで職場全体に結果を共有するとさらに良いと思う。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部の定期的な研修や市内での研修、内部での毎月の研修を行っている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者の作成したものを担当職員が確認している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	89%	11%		アセスメントしたものを振り返りながら支援に生かせるようにしていきたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%	常勤指導員を中心に行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	夏休みは特にプログラムを充実させることができた。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別では学習、集団ではコミュニケーション支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	ミーティングで確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	78%	22%	送迎の都合で打ち合わせは難しいため、日誌に記録するなどで共有している。 定期的な打ち合わせは行っていないが、トラブルや問題点などについて、互いに情報を共有している。 改まったものではないが、日誌を書きながら振り返っている。	対面でなくても確認できるような方法を考えながら情報共有していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日誌を用いている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	63%	38%	出来る限り支援したいが、放課後の短時間では難しい。長期休みで実施できるように工夫していく。 創作活動は、長期休みの時しかできないものが多い。	4つの基本活動を念頭に置きながら、どの利用者にも経験できる方法を考えたい。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	学習では個別課題の量や時間などを自己決定できるように話し合っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者と担当職員が参画する場合もある。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	多くはないが、個々に体制が必要な場合は行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	保護者を通して情報共有している。 ホームページで確認したり、直接電話でやりとりすることもある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%	リトルジョイを利用していた子どもに関してはできている。他からの利用は保護者から聞き取りしている。 保護者を通して情報共有している。	利用時のアセスメントをしっかりと行っていた。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	必要に応じて行っている。 サービス担当者会議を行うこともある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	助言を受けることは多い。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	教会学校のイベントに案内し、関わっている。 教会学校に参加できるように促している。母体である教会のイベントを案内している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	71%	29%	茨木市の事業所交流会に積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	今年度もペアレントトレーニングと外部講師による研修会（2回）を実施できた。 年2回、5回シリーズのペアレントトレーニングを実施した。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	願いや目指したいことを子どもと保護者に定期的に確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	研修会や親子クリスマス会で保護者同士の交流が持っている。 クリスマス会や年2回、外部講師による学びの機会を通して交流する場を設けている。 年1回のクリスマス会で交流できていると思う。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	公式LINEを活用している。 ホームページ、紙面でのお便り、公式LINEを利用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	LINEや電話で図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	事業所主催の行事は頻繁にはないが、法人の行事には参加している。	事業所の存在に対して理解が深められるように地域の方々に声掛けしたりしながら関わってきたい。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	保護者を通して情報共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年3回の研修を行い、元保護者にも参加して頂いて、委員会を形成している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		